

宝徳山稲荷大社

長岡市の中心部からはずれた丘陵地にあるため、遠くからでもその姿を見ることができます。黒い切妻屋根と朱色と白の特徴部分が森の上にそびえ立っています。神社の独特の建築は、夏には周囲の緑、冬には雪に覆われた丘の中腹と印象的な色のコントラストを形成します。

宝徳山稲荷大社は 2 つの複合施設にまたがって配置されています。下の複合体は 2 つのうち大きい方で、丘の中腹の約半分に位置しています。その 2 つの主要な建物は、日本のこのタイプのほとんどの神社に見られるものよりもはるかに大きいです。

2 つ目の少し小さめの複合施設は、丘の上の方にあります。これは、地元のお祭りの開催のため年に 2 回だけ使用されます。そのうちの 1 つである夜まつり(night festival)は、主な祈りの儀式で 5 万から 6 万本の赤いろうそくを使用します。

祭りのシーズン以外にも、ここで見たり、できることがたくさんあります。6 月下旬から 7 月上旬にかけて、本殿では、参拝者が実際に体験できる特別な入場の儀式が行われます。これには、建物の入り口にある、しっかりと織られた縄で作られた大きなリング状の門を通過することが含まれます。

本殿に正しく入る（そして伝説によれば、幸運を最大化する）ためには、門に足を踏み入れてから、「八の字」の動きで出入りする必要があります。入り口の横には、これを行う方法を示すビジュアルガイドがあります。建物に入る前に靴を脱ぐことを忘れないでください。

もちろん、神社に来る人の多くは祈るためにそうします、そしてここではまさにそのための珍しい方法を提供します。本殿の建物には、色とりどりのろうそくで飾られた 2 つの祭壇があります。これらのろうそくは、神社のユニークな祈りの儀式的基礎となっています。

儀式を完了するには、5 色のキャンドルを 2 セット点灯し、左から右に、緑、赤、黄色、白、紫の順序で祭壇に置く必要があります。

それぞれのキャンドルはあなたの人生に異なるプラスの効果をもたらすと言われています。

緑のキャンドルは、健康、学業の成功、そして一般的な幸福を表しています。

赤いろうそくはお金とビジネスの成功で幸運をもたらします。

黄色いろうそくは、地震、台風、その他の自然災害から身を守るのに役立ちます。

白いろうそくは健康で幸せな家庭生活を保証します。

紫色のキャンドルは最後に点灯しますが、精神を健康でバランスの取れた状態に保つのに役立つため、特に信仰においてはおそらく最も重要です。

宝徳山稲荷大社は長岡駅から車で 25 分のところにあります。電車でお越しの場合は、信越本線で 16 分、越後岩塚駅で下車してください。神社はそこから徒歩 10 分です。

神社への入場は無料です。しかし、神社で販売されている多くのユニークなラッキーチャームの 1 つを購入することで、その維持とメンテナンスに金銭的な貢献をすることができます。